

# お米とわたし

栗原市立若柳小学校 3年 佐藤 伊織

わたしはさいていでも一日一回ごはんを食べます。あまりごはんだけでは味がしません。どちらかと言うとごはんだけではおいしくないですが、おかずがあるととてもおいしいです。でもごはんだけでもおいしい食べ方があります。それは、「おにぎり」です。おにぎりを食べると力が出る気がします。この間も、今年入った金かんバンドの地区大会があって、朝にお母さんに3つ作ってもらい時間の間にがんばろうとみんな食べてしまいました。中には、こんぶ、うめぼし、めんたいこを入れてもらいましたが、あまりきんちょうして味はおぼえていません。でも、食べることによって力が出て、わたしなりに音がいっぱい出て、さい高にコルネットがふけました。みんなで力を合わせてがんばったら、なんとけん大会に行くことが出来ました。とてもうれしかったです。みんなもおにぎりを持ってきて少ない人は3こから多い人で6このおにぎりを食べた人もいました。考えてみたら運動会もおにぎりを朝に食べて全力でがんばれました。わたしにとって「おにぎり」はパワーフードなのです。食べるとポパイのほうれん草のように力が出てくるので何か、がんばろうと思うときは、お母さんにおにぎりをにぎってもらいます。もしかしてにぎってもらうことでお母さんの力も分けてもらうこともあるのかもしれない。お父さんにもお米について聞いてみたら、小さいころからじゅうどうをやっていて、「どんぶりめし」を多く食べてよく練習したことですごく強くなったと話していました。お母さんも小さいころ、部活の前によくおにぎりを食べていたそうです。わたしもがんばっていつかどんぶりめしを食べられるように元気ががんばりたいと思います。

さいごにおいしくお米を作ってくれているのう家やのうきょうの人にありがとうと言いたいと思います。これからもおいしいお米を食べたいと思います。